

平成24年 1月 6日

## NPO 法人短期派遣研修報告書

所属名	隠岐支庁隠岐保健所	氏名	矢野 綾子
派遣先 NPO法人名	NPO法人 もりふれ倶楽部		
① 研修の日時 8月19日(金)13:30~17:00 8月20日(土)9:00~16:00 8月21日(日)9:00~16:00 11月1日(火)8:00~16:00 11月2日(水)8:00~15:00 11月3日(木)9:00~17:00			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) ・第1回さくらおろちの食べごと塾…前日準備、講師補助、写真撮影、片付け ・第4回里山自然塾…会場準備、講師補助、片付け ・安来市立布部小学校 ネイチャートレイリング…準備、写真撮影 ・西日登小学校 樹名板設置 ・雲南西小学校 森の健康診断及びPTA間伐ボランティア			
③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、NPO活動の意義やNPOとの協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)  この度の研修では、ふるさと森林公園学習展示館内でのイベント、小学校対応等のお手伝いをさせていただきました。研修の際は、自然環境分野について知識の無い私でもできるようなお手伝いを任せて頂き、参加者の方々と一緒に学ぶことができました。 さくらおろちの食べごと塾では「食」というとても身近な題材から、作って食べるだけでなく食資源の魅力とその背景となる郷土文化等を、里山自然塾では間伐材を用いた工作からその背景と現状を学ぶことができました。両者とも参加者はとても楽しそうに作り、興味を持って講義を聴いていたのが印象に残りました。 11月の学校対応でも児童達は楽しそうに参加しており、身近にある自然の新たな発見に興味津々でした。  これらのイベントや講座を通して、里山環境保全の大切さや樹木について学習し、いかに自然が身近にあるかということを感じることができました。 ただ一方的に里山環境保全の大切さを説くのではなく、様々なイベントを通じて人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を持ってもらい、循環型社会の構築や地球温暖化・生物多様性の保全などに繋げるというもりふれ倶楽部さんの活動方針			

は行政ではなく、より住民の身近にあるNPO法人だからこそ出来ることだと感じました。

行政では届かない細かな部分、住民だけではできない大きな部分を補うのがNPO法人の役割なのではと考えました。また、NPO法人が行政と住民のパイプ役となり三者が協働することが理想の地域づくりに繋がるのではないかと思います。

最後に、大変お世話になりました、もりふれ倶楽部の皆様にお礼を申し上げます。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。